

『平塚市史12』 別編 民俗

本巻は、市域に伝承されている民俗（伝承によって集団的に受け継がれている習わしや習慣、しきたり）の実態を明らかにし、その地域的、歴史的な特色を記述し編集しています。

本巻の内容は、主に昭和55年度から昭和61年度にかけて実施した調査に基づいています。



正月の歳神棚(高浜台 昭和52年)

—掲載内容—

第1章 集落と環境

集落の立地、生活圏とマチの形成

第2章 農業と山林の利用

耕地の形状と所有、水利慣行、稲作の過程、畑作、養蚕と家畜、山林の利用、労働慣行

第3章 漁と魚の交易

海の漁、漁の信仰と儀礼、魚の交易とボテイ、水産加工、川の漁

第4章 職人・商人の活動

農村部の職人、町場の職人・商人たち

第5章 日々の暮らし

概説、衣生活の伝承、食生活の伝承、住生活の伝承、町の生活

第6章 村と家

概説、地域社会、子どもと青年の集団、ムラの区分と祭祀・付き合い、家・本家分家・親類

第7章 人の一生と人生儀礼

誕生と成長－産育習俗と儀礼、結婚と家－婚姻習俗と儀礼、
葬儀と供養－葬送習俗と儀礼

第8章 一年の行事と構成

概説、各月の行事例、行事の執行基盤、年中行事の性格

第9章 社寺と信仰

概説、神社の祭礼と祭祀組織、寺院と法要、さまざまな講、家の神仏、祈願の諸相、
俗信と民間医療

第10章 口承文芸と芸能

概説、昔話と世間話、伝説、ことばのはたらき、わらべ唄と民謡、人形芝居と囃子

付録 平塚市民俗分布図